

発行： NPO 法人ワークセンターいちい どんぐり工房
(ホームページ) <http://www.ob2.aitai.ne.jp/~donnguri/>

編集：佐藤礼佳 令和 6 年 12 月
石田祐一

- | | | |
|--------------|-----------------------------------|---|
| ・ どんぐり工房 | 瑞浪市陶町水上 669 番地の 1
〒509-6362 | ☎0572-62-1230 Fax0572-62-1231
(E メール) ichii-06@ob3.aitai.ne.jp |
| ・ 第 2 どんぐり工房 | 瑞浪市寺河戸町 1087 番地の 1
〒509-6121 | ☎0572-56-1130 Fax0572-56-1131
(E メール) donnguri@iaa.itkeeper.ne.jp |
| ・ わごうホーム | 瑞浪市薬師町 2 丁目 34 番地の 1
〒509-6135 | ☎・Fax 0572-67-5571
(E メール) wagou2018@ob.aitai.ne.jp |
| ・ 学園台ホーム | 瑞浪市学園台 2 丁目 13 番地の 6
〒509-6106 | ☎・Fax 0572-51-2809 |

どんぐり工房だより 新年号

新年の御挨拶

新年明けましておめでとうございます。

今年度 6 月をもって当法人の理事長として就任する事となりました。工藤前理事長様にご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。

さて、法人のスローガン『住み慣れたこの町で共に生きる』。その理念として三つの項目が掲げられています。

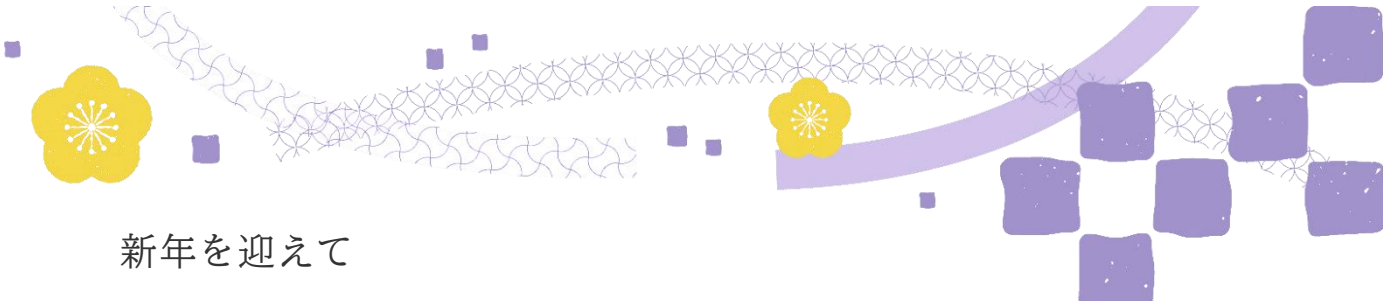
- 1、人としての尊厳をもって、一人ひとりの権利を尊重し、利用者の主体性及び自立性の確保に努める。
- 2、住み慣れたこの町の中で、生きがいを感じる暮らしの確立を目指す。
- 3、利用者とその家族の思いや願いを共有し、安心を提供できる支援に努める。

この理念の元に、平成 18 年、「ワークセンターいちい」が設立され、その後平成 23 年に陶町に施設移転。次々と各種事業を開設。就労継続支援 B 型事業開設、生活介護事業開設、就労移行支援事業開設、日中一時支援事業などの事業を立ち上げ現在に至っています。又 障がい者の地域生活を促進するために平成 30 年共同生活住居「わごうホーム」 令和 3 年には「学園台ホーム」を開設しました。このような事業が自律への足掛かりとなっていくことを願っています。現在市内に 3 か所目の建設に向けて計画を進めています。

障がい者を取り巻く環境や理解は以前より進んでいるとはいえ、まだまだ厳しい現状があります。私達は障害福祉サービス提供事業者としての責務を全うし、ノーマライゼーションの理念を尊重し努力を重ねその実現に向けて今後も切れ目のない活動をしてまいります。会員ご家族、地域住民はもとより、行政関係者各位のご理解、ご協力を心よりお願い申し上げます。



特定非営利活動 (NPO) 法人 ワークセンターいちい
理事長 石川文俊



新年を迎えて

2025 年の年頭にあたり、新年のご挨拶を申し上げます。

2024 年は、国から障がい者の多様なニーズに伴う細やかな支援の方向性を示され、主なものとしては 1)強度行動障がいをもつ障がい者等への地域ニーズへの対応、2)障がい者の虐待防止・権利擁護、3)業務継続に向けた対応力の強化・BCP があげられます。

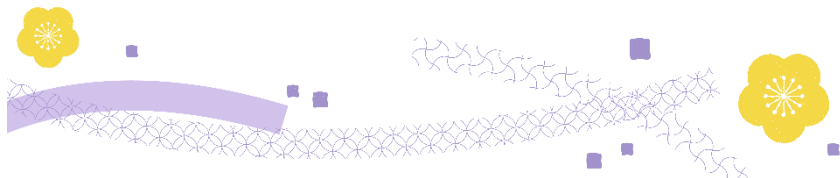
1)においては、重度障がい支援加算に新しい区分が設けられ、どんぐり工房として職員数の充実や、専門性の取得のため強度行動障害支援者養成研修の基礎研修及び実践研修の過程を終了した人員配置等手厚い支援を行っております。2)においても(1)虐待防止委員会の組織体制整備(2)委員会を年一回は行い議事録作成(3)委員会開催後に協議内容と協議結果の通知文章を作り全職員に通知する、また虐待防止研修等を行い職員への通達、アンケートを実施させていただいております。

そして、3)業務継続に向けた感染症や災害への対応力強化のための具体策（BCP）等どんぐり工房として、災害時また感染症の蔓延時に継続してサービスを行える計画作成、気象災害時の利用者様自宅とハザードマップを示し合わせ帰宅困難にならないようあらかじめ把握できるようなマップ作成等を行っております。

このような様々な変化のなかで、障がい福祉サービスは大きな改革が行われております。農福連携という言葉が今では、当たり前になってきましたが、昨年の 10 月に岐阜県農業フェスティバル内で、全国農福連携マルシェ in 岐阜が行われ、岐阜県内外から約 50 施設が参加され野菜はもちろん製菓、加工食品等様々な商品が並び、自分たちが持っているノウハウとは大きな違いを感じ大変勉強させていただきました。このような業界を超えた事業環境いわゆるオープンイノベーションといわれるものがこれからの時代に障がい者福祉にも必要になってきているのも事実であると思います。どんぐり工房としても、利用者の方ができる作業を考えながら小さなイノベーションを行い、多くの障がい者の方に選ばれる施設作りを行っていきます。

最後になりますが、去年は県の運営指導があり、無事に終えたことを報告させていただきます。

障害福祉サービス事業所 どんぐり工房
施設長 加藤智大



七月

みんなの願い事

叶うといいね☆



☆に書かれた願いをする

ゲームでもりあがって、

アイスクリームを食べました！

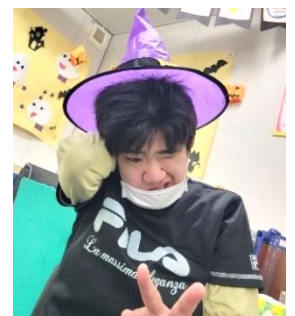


HALLOWEEN



仮装をして写真撮影！

創作活動では利用者さんそれぞれ
作ったおばけが可愛かったです

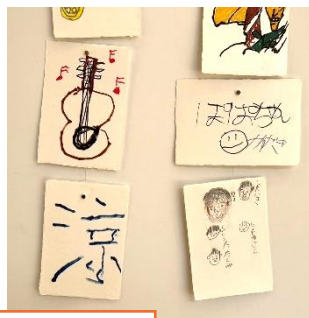
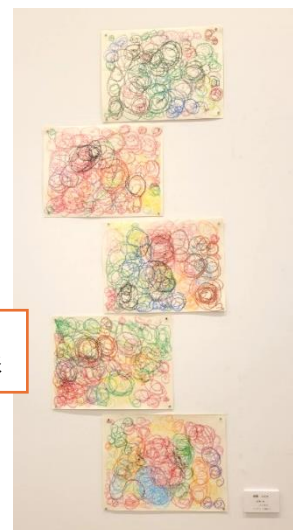




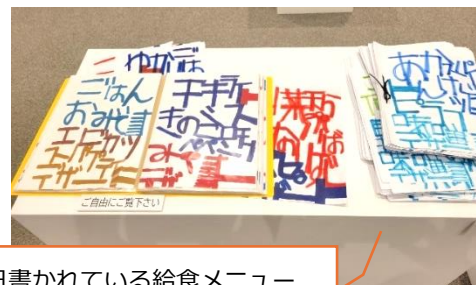
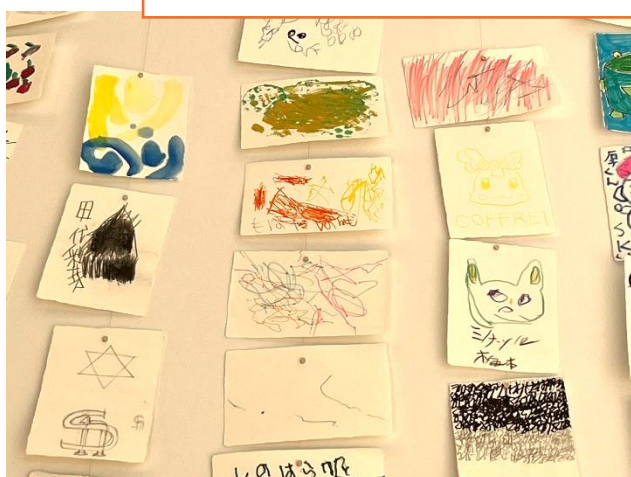
アールブリュット作品



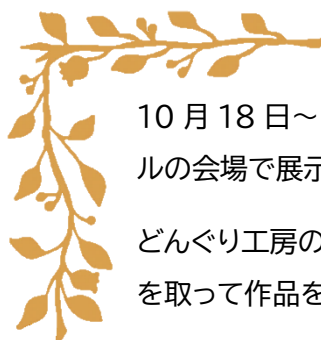
手作りの蠟人形



施設ごとにまとめて展示されていました！



毎日書かれている給食メニュー

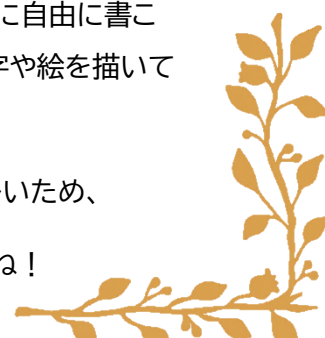


10月18日～10月30日に国際陶磁器フェスティバルの会場で展示されていた作品です。

どんぐり工房の利用者さんも夏場からひとりひとり時間を取って作品を作っていました。

絵葉書サイズの紙に「好きな物」をテーマに自由に書くということで、みなさん思い思いに文字や絵を描いて下さいました。

創作活動には興味のある利用者さんも多いため、またこのような機会があると嬉しいです！





書き初めにチャレンジ！！

みんな字や絵が上手です！

どんぐり工房

1年間の思い出



保護者会の方々が
キッチンカーで焼き鳥を
ふるまって下さいました



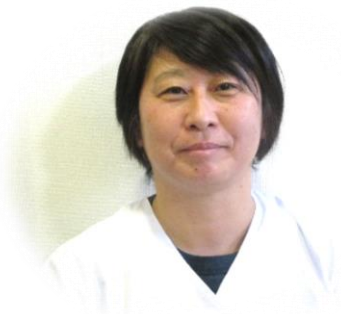
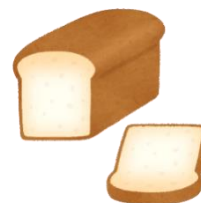
母の日、父の日にあわせて

メッセージカードを作ってみました♪





職員紹介



工房(陶) 田中 藤子

令和5年3月に入職した田中と申します。
パンの製造は初めての職種で不慣れなことも多く迷惑ばかりかけてきましたが、前職で学んだ経験を活かし、皆さんを支えられる頼りになる存在になりたいと思います。
これからよろしくお願いいたします。



職業指導員(第二) 工藤 辰久

令和5年5月より入職しました工藤と申します。
福祉関係の仕事に就くのは初めてで指導員として勤まるか心配でした。
分からないことばかりですが、厳しい指導で皆さんにいろいろと助けていただいております。
利用者の皆さんが安全で楽しく過ごせるような職場にできるよう私自身も日々努力していこうと思います。
今後ともよろしくお願いいたします。



給食補助(陶) 工藤 幸美

どんぐり工房に来て早1年半、あっという間の1年半です。
初めは一人でできるか心配でしたが、皆さんの助けを借りてどうにかできるようになりました。最近では、余裕を持ってできるようにもなりました。お弁当を出して残って戻ってくると残念に思います。でも、きれいになって戻ってきた時には、この利用者さんは美味しく食べてくれたんだなと思いきになります。
これからも食事の時間を待ち遠しく楽しみだと思えるよう頑張りたいと思います。
これからも皆さんのご協力をお願いいたします。



工房(陶) 今井 敬子

令和5年11月より入職しました今井敬子(いまいのりこ)と申します。
以前は、スーパー、ベーカリーに勤めていました。家族が、障がい者福祉に長年携わっており、福祉関係に興味はありましたが、実際に働くのは初めてです。
パン作りに加えて、利用者さんと一緒に作業する毎日は大変ながらも新鮮で、より一層努力していこうという気持ちになっています。
今後とも、よろしくお願いいたします。



生活支援員(陶) 小池 まゆみ

4月よりお世話になっております。小池まゆみと申します。

初めての福祉の現場のため、毎日が「どうする?」「なるほど!」の繰り返しの連続です。利用者の方々に少しでも心地よく過ごしていただくことができるよう、職員の方々の動きをよく見て話をよく聞いて、技術を身に付けていきたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。



生活支援員(陶) 稲垣 恵美

令和6年9月に入職しました稲垣と申します。福祉関係の仕事は今回が初めてとなります。

全ての事が全く分からない状態でしたが、皆さんのお力添えのおかげでなんとか環境に慣れることができたのだと思います。

利用者の皆様との信頼関係を長い時間をかけて築いていき、お互いに楽しい時間を過ごせるように努力していきたいと思っています。

不慣れな点もあると思いますが、今後ともどうかよろしくお願いいたします。



職業指導員(第二) 若尾 裕子

令和6年10月より第二どんぐり工房指導員として入職しました若尾裕子(わかおゆうこ)です。

今までに、介護施設、B型就労施設、放課後デイサービスなどで働かせていただいた事がありました。新たな場所で、また初心に戻り、利用者さん、ご家族に寄り添った指導、支援ができたらと思っています。

まだまだ覚えることが一杯で、一緒に働く職員の皆さんに教えて頂きながら、日々精一杯努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



お願い アルミ缶を集めています！



どんぐり工房では、アルミ缶を利用者さんがプレス機にかけて潰れたアルミ缶をリサイクル業者へ納品しお金をいただいております。アルミ缶が集まるほど、利用者さんの作業時間も工賃もアップするため、皆さんのお家で出ますアルミ缶を是非ご提供いただきますようよろしくお願いいたします。

ご提供いただくにあたってのお願い

- ・アルミ缶は中身を洗って出してください。
- ・アルミ缶に付いてるキャップは回収していないので出さないでください。
- ・回収は、どんぐり工房へ直接持ってきていただく(土日夜間の不在時は玄関前に置いてください)または、送迎車の運転手または介助人にお渡しください。



編集後記

令和6年度の1年間の行事は、大きな外出の機会は無かったものの、施設内での創作活動の機会やイベントを増やしたり、生活介護事業では誕生日外出を毎月行ったりと、利用者さんの楽しみを増やせるように取り組んでいました。創作活動ではアールブリュット展があり、利用者さんの作品を公開できる機会があったことが、とても嬉しかったです。利用者さんの個性的な作品は、いつもどんぐり工房の掲示を賑やかにして下さっています。作品を額縁に入れて飾ったり、ファイリングしたり、また新しい取り組みを行いたいと思うきっかけになりました。

このどんぐり工房便りについてですが、令和7年度からは年3回の発行を続けていきたいと思います。管理者の挨拶から、職員の紹介や行事活動の様子が主な内容ですが、今後載せてほしいこと、ご意見などありましたら遠慮なくお聞かせいただくと助かります。

今年度も大変お世話になりました。令和7年度もよろしくお願いいたします。

生活支援員 佐藤 礼佳